



# Infant Scientist

## 赤ちゃん・ちびっこ通信

日頃は「赤ちゃん研究員」にご登録、ご協力をいただき、まことにありがとうございます。お忙しい中、調査室までお越しくくださった保護者の皆さま、ご自宅での調査にご協力いただいた皆さま、まことにありがとうございます。今回は残念ながら予定があわなかった方、また調査の対象年齢の都合で残念ながら調査をお願いできなかった方には、たいへん申し訳ありませんでした。「赤ちゃん研究員」の皆さまのお力添えで、15年目となる九州大学「赤ちゃん・ちびっこ研究員」には、3月現在で511名の方（ご卒業された方も加えるとこれまで1954名の方）にご登録・ご協力を頂いています。

調査を通して得た発見や貴重な情報を、学会で発表したり、論文や文章にまとめたりして、時間はかかりますが「きちんと」お伝えすることをスタッフ一同心がけております。また、その発見や知識が、赤ちゃん・お子さん、保護者の方にご協力いただいたことによって成り立っていることを忘れずに、日々の調査・研究にあたりたいと考えています。

今年度は、下記にご紹介するような調査を行ってまいりました。また、今年度から「赤ちゃん・ちびっこ研究員」に加えて「子ども研究員」（小学校入学～卒業まで）の募集を始めさせていただきます（詳細は「研究室からのお知らせ」をご参照ください）。今後ともどうぞよろしく願いいたします！

### 今年度ご協力いただいた&現在進行中の調査をご紹介します

昨年度と今年度ご協力いただいた調査は、「第81回日本心理学会」（久留米 2017年9月）、「日本赤ちゃん学会第17回学術集会」（久留米 2017年7月）、「2018年ブダペスト CEU 認知発達学会（ハンガリー・ブダペスト 2018年1月）」等の学会・研究会で順次発表させていただきました。

### 赤ちゃん研究

乳児期における自己顔への感受性—自己顔への類似性の観点から—

担当：新田博司 対象：10～13ヶ月児

私たちは自分自身を認識した上で、様々な行動を日常的に行っています。鏡を見て髪の毛をセットしたり歯を磨いたりできることにも、鏡に映る鏡像が自分であると理解していなければなりません。しかし、このような認識が人生の中でどのようにできるようになるのでしょうか？赤ちゃんにとっては、鏡に映る自己の鏡像、数秒前に撮影された自分の写真や動画であっても「自分である」と認識できるようになるまでいくつもの発達の段階を経る必要があると考えられます。それらを明らかにするために、今回の調査では、1歳前後の赤ちゃんを対象に様々な方向の自分の顔、他の赤ちゃんの顔、そして、その2つの顔を合成した顔を見て、お子さんがどのような反応をするのかを検討しました。

### ちびっこ研究

「沈黙」が幼児のコミュニケーション解釈に及ぼす影響

担当：齊藤大葵 対象：5歳児

社会の中で生きる私たちにとって、他者とのコミュニケーションを通して他者の意図（しようとすること）を適切に理解することが重要です。しかし、その理解はいかにしてできるようになるのでしょうか？他者の意図を理解するためには、他者の発話だけでなく、話の流れや他者の仕草など「その場の状況」も考慮しなければならず、幼児でもそれらの情報を適切に利用していることは近年の研究で明らかになっています。本研究では、返事までの「長い間」や、何も言わない「沈黙」といった発話の無い状態が子どものコミュニケーション解釈にどのような影響を与えるかを調べました。具体的には、他者の「通常の返事」と「沈黙を置いた後の返事」を聞いた際に、5歳児がそれらの返答をどのように解釈するかをお話の映像を用いて調査しました。

属性の共有/非共有が幼児の選好注視に及ぼす影響：エージェント間の競合場面に着目して

担当：前山航暉 対象：3歳児、5歳児

私たちには、自分と属性(特徴)が同じ人を好む傾向があるようです。例えば、好きな芸能人が同じ人や、

出身地が同じ人などに対して、親近感を抱いたり、好感を持ったりするということです。これまでの研究から、この傾向は子どもにおいても見られることがわかっており、言語や年齢といった属性について、子どもは属性が同じ人を好むようです。しかし、この傾向はどのような場面においても見られるのかどうか分かっていません。そこで、自分と属性が同じ人と、異なる人が戦っている静止面のアニメーション(すもう)を見せた時に、子どもがどちらを長く見るか(注視するか)、どちらを応援していたと答えるか、どちらとお友達になりたいと答えるかを調べました。

音と距離との関係は、どのような手がかりを使って認識されているの？

担当：土屋勝太、富士直斗 対象：4, 5歳児

私たちの身の回りには「不思議な現象」がたくさんあります。例えば、救急車が目の前を通過する際、鳴らしているサイレンの音の高さは変化していないのに、なぜか低くなっていくように聞こえる現象もその一つです(ドップラー効果)。私たちおとなは、このような現象の背後にある物理的な仕組みを理解しておらずとも、音の高さやテンポの変化を手がかりに、救急車と自分との相対的な位置関係を判断できます(例：後方から救急車が近づいていることに音で気づく)。このような直観に関わる要素(例：音の高さ・テンポなど)は何なのでしょう。また、何歳ごろからこのような直観を使えるようになるのでしょうか。物体が音を鳴らしながら移動する動画をお子様がどのように観るのかを記録することで、上記の疑問を確かめました。

## その他

赤ちゃんが一番かわいいのはいつ？

担当：齋藤慈子 対象：2歳までのお子さんを持つお母様

私たちは、赤ちゃんの顔のかわいさの発達的变化、かわいさと世話をしたいという欲求との関係を調べるため、低月齢のお子様を持つお母様と大学生に、新生児期から2歳までの赤ちゃんの写真の、かわいさ、世話をしたい程度、接近したい程度の評定をしていただきました。お母様では、かわいさのピークは0歳代半ばにあり、世話、接近欲求は新生児期が高くその後低下しました。大学生では、3つの評定すべてのピークが0歳代半ばにありました。これらの結果から、お母様にとっては、かわいいと思うことと、世話、接近欲求は必ずしも一致しないこと、お母様と大学生では、赤ちゃんの顔の認識の仕方が異なることが考えられます。

現在計画中の赤ちゃん・ちびっこ研究

- 因果応報的ストーリーへの期待とその発達 ～幼児期・学童期に注目して～  
(担当：山手秋穂 対象：5歳児・小学生)
- 乳幼児期の言語としての問投詞の理解 (担当：宇土裕亮 対象：～4歳児)
- 異なった状況における勝敗の判別 (担当：山下晶央、若狭巧望 対象：～成人)

## 研究室からのお知らせ

- 私どもの研究室ではこれまで、0～6歳頃までのお子さんと保護者の方に調査のご協力をいただいております。0歳から1歳のお子さんを「赤ちゃん研究員」として、2歳から就学前のお子さんを「ちびっこ研究員」としてご登録いただき(4月時点で2歳になられているお子さんにつきましては自動的に「ちびっこ研究員」へと登録を移行)、就学年齢に達したお子さんは、「卒業」とさせていただいたうえで、ご連絡先などの個人情報破棄させていただきます。
- 平成29年度より、就学年齢に達したお子さんであっても、保護者の方のご了承がいただけた場合に限り、小学校に入学された後は「子ども研究員」(小学校卒業まで)としての登録をご継続いただけるよう規定を変更させていただきたいと考えております。今年度をもって卒業されるお子さんのいらっしゃるご家庭には「子ども研究員」登録のご継続のお願い(別紙)を送付しておりますので、詳しくはそちらをご参照ください。引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げます。
- お引越など登録内容(電話番号・住所など)に変更が生じた場合は、ご連絡いただければ幸いです。また、遠方へのお引越し等で登録の解除を希望される場合は、その旨をご一報いただければ大変ありがたいです。こちらで変更の手続きをさせていただきます。

九州大学 人間環境学研究院・教育学部 発達心理学講座  
橋彌 和秀(はしや かずひで) 准教授  
〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-19-1 (教育心理棟 3階 307号室)  
TEL & FAX (092) 642-3143  
Email: babykyushu@yahoo.co.jp HP: <http://www.babykyushu.org>

